

# 在宅医療コーディネーター養成研修会(第5回) 報告書

日時・場所	平成 29 年 3 月 22 日 (水) 15 : 00~17 : 30 高松市医師会館
参加者	受講者 40 名 行政担当者 8 名
内 容	<p>テーマ：在宅医療連携と在宅医療コーディネーターの活動の実際</p> <p>1. 情報提供①：在宅医療コーディネーターの活動報告 屋島総合病院 和田 MSW (1 期生)</p> <p>2. 情報提供②：医療機関の連携 (病診連携、医療機関での調整業務) 日赤 松本委員</p> <p>3. テーマディスカッション：在宅医療連携と在宅医療コーディネーターの活動と課題</p>
結 果	<p><b>1. 在宅医療コーディネーターの活動報告 和田 MSW による講義</b></p> <p>題目「地域医療連携室の役割と機能」</p> <p>○地域連携室とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自院と他院・他施設をつなぐ部署。</li> <li>・ 地域の様々な資源を把握し、施設や専門職の役割を認識して「つないでいく」ことが求められる。</li> <li>・ 退院支援とは「患者・患者家族の意思決定支援」、退院調整とは「患者・患者家族の意向を踏まえ、その後の療養環境を整える」</li> </ul> <p>○地域包括ケアと医療ソーシャルワーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療ソーシャルワーカーの役割としては、「退院援助」「経済的問題の解決援助」「地域活動」「心理・社会的問題の解決援助」「受診・受療援助」「社会復帰援助」等があるが、患者に寄り添い、意向に沿った支援を行うことが基本理念。</li> </ul> <p>○在宅医療コーディネーターとして期待されている機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院完結型→地域完結型医療に向けて、退院支援・調整・連携の質の担保が求められている。院内では地域連携室の MSW として、チーム医療の推進、病院での地域連携の会の開催、病院支援の質の担保等を担い、院外では MSW の団体として、多職種による職能団体との合同研修や医療・介護・福祉の連携を推進していく役割を担っていくことが必要。</li> </ul> <p><b>2. 医療機関の連携 (病診連携、医療機関での調整業務) 松本委員による講義</b></p> <p>題目「医療機関での連携・調整業務の実際」</p> <p>日常の業務について、具体的な事例を交えながらお話いただいた。</p> <p>○顔の見える関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顔のわかる関係→顔の向こう側が見える関係→顔を通り超えて信頼できる関係。</li> </ul> <p>ここまでに至るには、理念や価値観の共有と時間が必要。</p>